



# 子育てするなら、 千歳市

元気あふれる未来に向けて、魅力ある新しいビジョンを!

政策冊子(第15版)

千歳市は、平成26年度から先進的な子育て支援に取り組む  
“子育てするなら、千歳市”の政策を推進しています。  
平成29年度には「こども福祉部」を新設し、子育て支援体制の充実・強化を図りました。  
これからも、妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援を提供し、  
子育て世代がしあわせを実感できる「子育てのまち」を目指して取り組みます。

「子育てするなら、千歳市」PR動画  
Youtubeで絶賛公開中!



子育てお出かけnavi  
(地図)



check!

携帯、スマホ、  
タブレットは  
こちらから!



そらまちキッズnavi  
(子育て情報SNS)

令和5年4月  
千歳市

千歳市は、北海道の空の玄関「新千歳空港」を擁し、国立公園の支笏湖やサケが遡上する千歳川など豊かな自然に囲まれた道央圏の中核都市です。

- 人口 96,965人（令和5年4月1日現在）
- 世帯数 51,290世帯（1世帯あたり：1.89人）
- 面積 594.50km<sup>2</sup>（東京23区とほぼ同じ面積）
- 平均年齢 44.3歳（令和2年国勢調査 全道一若いまち）
- 年間出生数 676人（令和4年 住民基本台帳）
- 合計特殊出生率 1.35（令和3年 全国1.30 北海道1.20）
- 出生率 7.5（令和3年人口千人あたり 全国6.6 北海道5.6）
- 財政力指数 0.740（3か年平均（令和4年度））
- 人口増加数 5年間で2,302人（平成27年→令和2年国勢調査確定値）
- 「千歳市人口戦略プロジェクト」（令和3年3月策定）
- 子ども・子育て関連施設（令和5年4月1日現在）
  - 認定こども園20園、認可保育所3園、小規模保育所8園
  - 事業所内保育所（地域枠2園）、幼稚園（施設型給付2園）
  - 夜間保育園1園、事業所内保育所（認可外）2園
  - 企業主導型保育施設6園、民間認可外保育所1園、へき地保育所1園
  - 子育て支援センター12か所、児童館11か所
  - 学童クラブ18か所、千歳こどもデイケアルーム（病児・病後児保育）1か所
  - ファミリー・サポート・センター1か所、地域子育てサロン9か所

平成 26 年度から積極的に子育て支援に取り組み、**9 年間で 59 事業を開始**しています。(開始予定を含む。)

平成 24 年度	平成 24 年 8 月	子ども・子育て関連 3 法が成立し、新制度に向けた取組が開始
	11 月	子ども・子育て関連 3 法に係る国と市町村の懇談会」のメンバーに本市が選ばれる。(全国から 30 自治体を選定、これまでに 19 回開催)
	平成 25 年 2 月	「全国自治体の子ども・子育て支援施策に関する調査」(内閣府) で、先進的取組事例に本市が選ばれる。(全国から 30 自治体を選定)
平成 25 年度	平成 25 年 11 月	“子育てするなら、千歳市”の平成 26 年度主要施策を決定
	平成 26 年 2 月	公立子育て施設 (14 施設) が「子育てブログ」による情報発信を開始
	3 月	子育て支援中核施設「げんきっこセンター」の開設
平成 26 年度	平成 26 年 4 月	学童クラブの小学 4 年生までの拡大と定員 300 人増、「ランドセル来館」「中高生タイム」・「ランチデー」・「ランチタイム」の導入
	7 月	子育てするなら、千歳市”の平成 27 年度主要施策を決定
	10 月	「9 館合同児童館まつり～ようこそ！まほうの国へ」の開催
	12 月	「保育士等人材バンク」の開設、新制度保育料の市独自軽減案を公表
平成 27 年度	平成 27 年 4 月	幼保連携型認定こども園 7 園・小規模保育所 6 園の開設、学童クラブの小学 6 年生までの拡大、「ちとせ子育てコンシェルジュ」・「ちとせ版ホームスタート」・「インクルージョン保育」・「子育て支援センターの休日開館」・「不妊治療費助成事業」・「子育てスキルアップ講座」・「養育支援ヘルパー派遣」・「児童館型子育て支援センター」の導入
	5 月	STV テレビが“子育てするなら、千歳市”の取組を紹介
	7 月	「ファミリー・サポート・センター」の負担軽減、「一時預かり事業」の拡大、「夏休みランチデー」の導入
	8 月	「ちとせ学習チャレンジ塾」の開設、UHB テレビが「情報カフェ赤れんが」で本市の子育て支援を紹介
	10 月	「緊急メッセージ“児童館においでよ”」の発信、「転入親子ウエルカム交流ツアー」の開催、UHB テレビが「子育てコンシェルジュ」等を紹介
	11 月	「いいお産の日 in ちとせ」・「親子 de フリマ!」の開催、STV テレビが「転入親子ウエルカム交流ツアー」を紹介、全国保育研究大会 (山口県山口市) で“子育てするなら、千歳市”の取組を紹介、「企業連携ぶちゼミ」の開催
	12 月	「冬休みランチデー」の導入
	平成 28 年 3 月	「子育て世代包括支援センターネットワーク構想」(第 2 次健康づくり計画)
平成 28 年度	平成 28 年 4 月	幼保連携型認定こども園 1 園・小規模保育所 2 園の開設、子育て支援室に「産前産後ケア担当主幹」を設置
	8 月	全国市町村国際文化研修所 (滋賀県大津市) で子育て政策の紹介「9 館合同児童館まつり～こどもオリンピック in じどうかん～」の開催
	10 月	「ちとせ版ネウボラ」の導入、「毎日ランチデー」の導入、「パパのための子育てスキルアップ講座」の実施、「産後ママ相談」の導入
	12 月	「新米ママのための子育てスキルアップ講座」の実施
	平成 29 年 1 月	「イクボス宣言」の普及啓発 (29 年 1 月 4 日千歳市長がイクボス宣言)
	2 月	高台小学校区学童クラブ「あすなろ」開設 「マタニティーランチデー」の導入

平成29年度	平成29年4月	保健福祉部子育て支援室が「こども福祉部」に昇格、幼保連携型認定こども園3園・保育園1園の開設、北陽小学校区学童クラブ「たいよう」及び「にこにこ」開設、こども家庭課に「こども支援コーディネーター」を設置、「千歳市子ども家庭総合支援拠点」の導入
	5月	「こども食堂フォーラム」の開催、「こども食堂」相談支援
	6月	父親サークル「千歳市パパの会」活動支援
	7月	「小学校の長期休業期間のみ利用する学童クラブ」モデル事業の実施
	8月	都市経営セミナー（東京都千代田区）で“子育てするなら、千歳市”の取組を紹介
	10月	「子育てママ応援会議」の発足
	平成30年2月	マイナポータルを活用した子育てワンストップサービスの導入<児童手当・保育所利用申請・母子手帳交付申請等>
平成30年度	平成30年4月	緑小学校区学童クラブ「みどりっこ」及び「よつば」開設 幼保連携型認定こども園1園、小規模保育所1園の開設 「小学校の長期休業期間のみ利用する学童クラブ」全17学童クラブで試行実施 市民協働事業「子育てスキルアップ講座開催事業」の実施 「こども食堂応援事業」の実施
	7月	東京法規出版発行「地域保健」2018年7月号にて子育て世代包括支援センター（ちとせ版ネウボラ）と子ども家庭総合支援拠点の連携強化の取組を紹介
	8月	「千歳市9館合同児童館まつり～たいむすりっぷ in こども時代村」の開催
	10月	2018年度版「地域包括及び子育て世代包括ケア先進自治体調査」（につぼん子育て応援団）で、先進的取組事例に選定される（全国から5自治体）。
令和元年度	平成31年4月	市内初の民設民営による児童館「あんじゅ児童館」開設 幼保連携型認定こども園1園、小規模保育所1園の開設 市民協働事業「『子育てするなら、千歳市』プロモーション事業(ママからnet.)」を開始 病児・病後児保育事業を拡充 一時預かり事業（一般型）の定員拡大 「小学校の長期休業期間のみ利用する学童クラブ」事業の本格実施
	令和元年5月	藤女子大学保育学科学生への保育士就職説明
	6月	NHK札幌放送局が「転入親子ウェルカム交流ツアー」を紹介
	8月	保育士就職相談窓口「ちーマインダー」の開設
	9月	千歳市保育士等人材バンク ネット登録受付開始
	10月	幼児教育・保育無償化の開始 就学前の障害児の発達支援の無償化 千歳市児童虐待対応マニュアル（市民版）の発行
	11月	教育・保育施設等専門職研修会 「子どもが幸せになるために～子育てにやさしい風土づくり～」の開催 千歳市子育てママ応援会議最終報告・「みんなで子育て応援宣言」の採択
	令和2年3月	第2期千歳市子ども・子育て支援事業計画“ちとせっこの笑顔きらきら大作戦”の策定
令和2年度	令和2年4月	保育所型認定こども園1園、幼保連携型認定こども園1園、認可保育所1園の開設 ちとせ子育て特典カード対象年齢の拡大（中学生以下→18歳まで） 休日保育利用の無償化の開始 千歳市児童発達支援センターの設置（こども通園センターの廃止） 「わくわく給食」食事指導の導入 市民協働プロモーション事業「子育てスキルアップ講座」実施 「児童虐待防止対策体制総合強化プラン」に基づき、他市町村の子ども家庭総合支援拠点取組強化として、国（厚労省）からアドバイザーの要請を受ける。
	7月	市民提案型協働事業「子育てするなら、千歳市」PR動画制作事業開始
	8月	児童虐待早期発見・防止のためのワンポイント出張講座の開始 「千歳市子育て応援会議」の発足
	9月	千歳市児童虐待防止スタート年として「千歳市児童虐待ゼロ宣言」の採択



令和2年度	令和2年10月	保育士就職相談窓口「ちーマインダー」が無料職業紹介所として開設 ちとせ子育て特典カード（メール版）開始
	11月	「第6回いいお産の日 in ちとせ」をyoutubeの動画配信で開催
	令和3年3月	「子育てするなら、千歳市」PR動画完成
令和3年度	令和3年4月	幼稚園（施設型給付）から幼稚園型認定こども園に3園が移行 千歳市児童館・学童クラブ運営業務委託の開始 市民協働プロモーション事業「『子育てするなら、千歳市』プロモーション事業（そらまちキッズnavi）」を開始
	11月	「第7回いいお産の日 in ちとせ」として市内各所でパネル展を開催 児童虐待防止パネル展をイオン千歳店で開催 保育士リクルートバスツアーを開催
令和4年度	令和4年4月	北陽小学校区に開設していた「なかよし学童クラブ」廃止 みどり台小学校区に「みどり台児童館」「きらきら学童クラブ」及び 「ぴかぴか学童クラブ」開設 こども療育課ブログの更新情報を市公式LINE、市公式Twitterで発信開始
	6月	学校法人三幸学園と「幼児教育・保育事業連携に関する協定」等を締結
	11月	「第8回いいお産の日 in ちとせ」パネル展で子育て川柳のコンテストを開催
	令和5年2月	「ちとせ出産・子育て応援事業（国の出産・子育て応援給付金）」が開始
令和5年度	令和5年4月	幼稚園（施設型給付）から幼稚園型認定こども園に2園が移行 小田原短期大学千歳スクール（保育士等養成校）が開校

## 2 子育てブランディング戦略

ブランドネームを“子育てするなら、千歳市”とし、他地域との差別化や様々なPR手法を用い、子育て世代が「子育ての価値」を実感できる政策を目指します。

先進的な事業や地域特性や強みを生かした事業を展開するほか、事業名称にも工夫をこらし、“子育てするなら、千歳市”と感じてもらえるようなPR活動（プロモーション）を実施します。

※ ブランディングとは、ブランドとして認知されていないものをブランドとして育て上げる手法をいいます。

### ● 「子育てするなら、千歳市」の情報発信

- ・ テレビ局、ラジオ局による取材（平成27年度は道内テレビ局が4回放映）
- ・ 「月刊地域づくり」、「地域保健」、政策情報誌「プラクティス」、「エゾクラブマガジンコミュ」での紹介
- ・ 北海道が発行する「高校生向け副読本」や「ライフデザインBook」での紹介
- ・ 全国保育研究大会で子育て政策の紹介（平成27年11月12日、山口県山口市）
- ・ 全国市町村国際文化研修所で子育て政策の紹介（平成28年8月9日、滋賀県大津市）
- ・ 都市経営セミナーで子育て政策の紹介（平成29年8月10日、東京都千代田区）
- ・ 国や関係団体による「子ども・子育て支援施策 先進自治体調査」に選定
- ・ 新聞各社や地域情報誌「ちゃんと」「いいね！」による掲載
- ・ インターネットなどでの本市の子育て事業の紹介
- ・ 市民団体「ちとせ・こどもチャンネル」と市民提案型協働事業による「子育てするなら、千歳市」PR動画制作事業として、短編（約40秒）・長編（約5分）の動画を制作。短編動画をYoutube TrueView インストリーム広告に活用。

● ロゴ



● ポスター



● リーフレット



● クリアファイル



● PR動画



● 市民協働プロモーション事業（令和3年～令和5年）  
『子育てするなら、千歳市』プロモーション事業

令和3年から市民団体「そらまちネットちとせ」との市民協働プロモーション事業として、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等を活用した市民目線での情報発信を開始しました。（愛称「そらまちキッズnavi」）

子育て世代にとって身近な媒体を用いた情報発信によって、安心して子育てができる環境づくりを進めるとともに、千歳市の子育て環境を市内外にPRしていきます。

● そらまちキッズnavi



### 3 切れ目のない支援

#### 1 部門間の垣根を超えた支援体制の充実

少子化対策を進めるためには、部局の垣根を越えた総合的な支援が必要です。

##### <連携内容>

- ① こんにちは赤ちゃん訪問事業で支援が必要な家庭がある場合、子育てコンシェルジュの「ままサポート」やこども家庭課の「養育支援ヘルパー派遣」につないでいます。
- ② 母子保健課、子育て支援センター、認定こども園、市民病院、医師会、民生委員児童委員などが連携し、「いいお産の日 in ちとせ」を開催しています。
- ③ 福祉課（生活困窮担当）が、生活保護世帯に加え、ひとり親家庭の中高生を対象に、「ちとせ学習チャレンジ塾」を週2日開催しています。
- ④ 児童発達支援センター、認定こども園、保育所、幼稚園等が連携し、発達障害等の子どもたちを包括的に支援する「インクルージョン保育」を実施しています。
- ⑤ 総合保健センター、子育て支援センター、家庭児童相談室が核となり、児童発達支援センターと連携し、「ちとせ版ネウボラ」を行っています。
- ⑥ 要保護児童対策調整機関である家庭児童相談室（こども家庭課）が核となり、要保護児童地域ネットワーク協議会、子育て世代包括支援センター（ちとせ版ネウボラ）、市民活動団体などと連携し、「千歳市子ども家庭総合支援拠点」としての取組を行っています。

#### 2 こども福祉部及び保健福祉部における切れ目のない支援

すべての課（13課）が、子育て支援に関する事業を実施しています。

担当課名	主な取組内容
こども政策課	幼保連携型認定こども園移行、小規模保育導入、保育料独自軽減、保育士就職相談窓口「ちーマインダー」、保育士就職セミナー、保育士リクルートバスツアー、一時預かり事業拡大、ファミリー・サポート・センター負担軽減、転入親子ウエルカム交流ツアー、いいお産の日 in ちとせ開催、子育てガイド、イクボス宣言普及啓発、子育て特典カード、子育て応援会議、企業主導型保育事業支援、そらまちキッズnavi（市民協働プロモーション事業）
こども家庭課	子ども家庭総合支援拠点、こども食堂支援、子育てスキルアップ講座（市民協働プロモーション事業）、ショートステイ、子育てカウンセリング、おや？おや？安心サポートシステム、児童虐待対応マニュアル等、ひとり親家庭自立支援事業、児童虐待早期発見・防止のためのワンポイント出張講座
子育て総合支援センター（学童クラブ・児童館）	子育てコンシェルジュ、ままサポート、つどいの広場、学童クラブ学年拡大・定員増、長期休業期間のみ利用する学童クラブ、ランドセル来館、中高生タイム、ランチタイム、げんきっこセンター新設、児童館型子育て支援センター導入、11館合同児童館まつり、児童館においてよ、休日開館、子育てネットワーク運営、企業連携ぷちゼミ、毎日ランチデー、マタニティランチデー
認定こども園つばさ	教育プログラム（外国人講師による英語教室、水泳教室、科学実験教室など）の充実、地域の子育て支援事業の実施
認定こども園ひまわり	
こども療育課	児童発達支援センター、こども発達相談室はぐ、こども相談支援室あーち、インクルージョン保育を支援する取組（保育所等訪問支援、巡回支援事業みにくる）、医療的ケア児支援協議会
福祉課	ちとせ学習チャレンジ塾（生活困窮世帯児童学習支援）
高齢者支援課	ボランティアポイント事業（高齢者が子育て支援施設で活躍）
障がい者支援課	障がい児の障害福祉サービス、千歳市障がい者地域自立支援協議会こども部会
健康づくり課	からだところの健康づくり、
母子保健課	ちとせ版ネウボラ、不育症治療費助成、5歳児相談、こんにちは赤ちゃん訪問事業、産後ケア事業、育児教室、両親学級、子どもの受動喫煙ストップ周知啓発、新生児聴覚検査事業
市民健康課	健康診査、がん検診・啓発（ピンクリボン等企業連携協定）
救急医療課	休日夜間急病センター（平成29年9月開設、乳幼児も対象）、救急医療

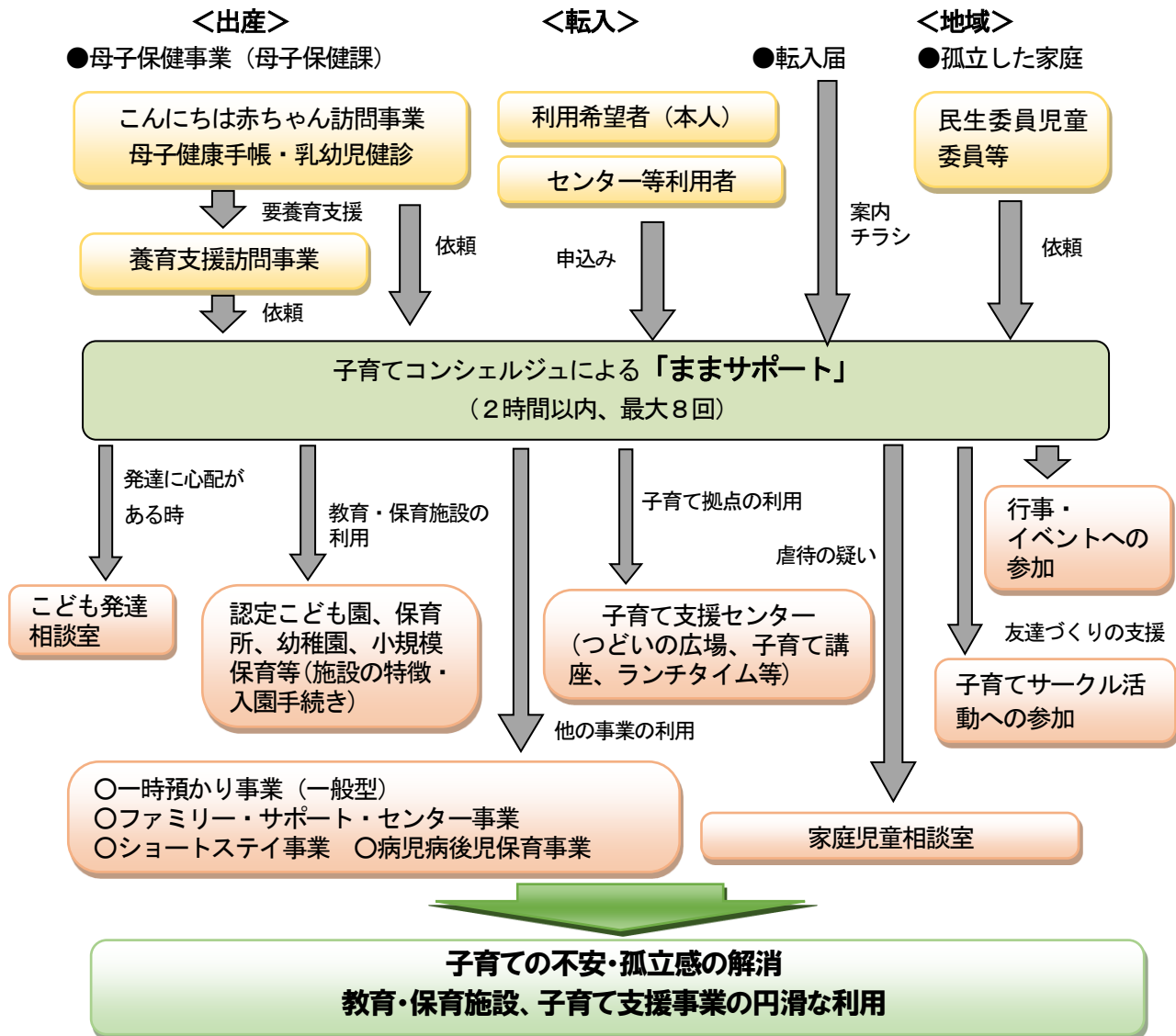
## 4 「ママサポート」（訪問型子育て支援）～愛称「ママサポ」

イギリス発祥の「ホームスタート<sup>※</sup>」の取組を参考に、平成27年度から子育てコンシェルジュが子育て家庭を訪問し、友人のように寄り添う「ママサポート」を行っています。

転入後間もなく孤立している家庭、子育ての不安や育児ストレスを抱えている方に対して、2時間以内、最大8回を限度として訪問します。

- ア 育児不安等に対する「傾聴」、「対話」及び「助言」
- イ 教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の利用支援
- ウ 保護者と一緒に行う育児、家事及び戸外活動（離乳食調理、散歩、沐浴補助など）

※ ホームスタート 英国で約40年前に発祥した「家庭訪問型子育て支援ボランティア」制度で、日本ではホームスタート・ジャパンが運営しています。



※ 平成28年6月に事業名を「ちとせ版ホームスタート」から「ママサポート」に変更しています。

### ■子育てコンシェルジュ

「自分に合ったサービスは?」「保育園や幼稚園をどう選んだら?」など、子育て家庭の方は悩むところです。

「ちとせっこセンター」、「げんきっこセンター」の2か所に配置する「ちとせ子育てコンシェルジュ」は、事業や施設の利用の案内役として子育て家庭をサポートします。

また、コンシェルジュは、孤立したり、子育てに不安がある家庭を訪問し、友達のように寄り添いながら、サポートする訪問型の「ママサポート」に取り組みます。



## 5 「ちとせ版ネウボラ」(平成28年10月開始)

### <趣旨>

本市は、年間約6千人の市民が転出入するという地域特性があり、独立する子育て家庭や妊娠・出産に対する不安を抱える母親も多くいるため、妊娠中や子育て中に一人で悩まずに気軽に相談できる「ちとせ版ネウボラ」を導入し、「安心して妊娠・出産、子育てができるまちづくり」を進めます。

### <目的>

親を指導するのではなく、ともに考え、寄り添い、必要時は、機関と連携し、チームで支援を行い、妊娠・出産や子育ての不安を解消し、産後うつ、育児ノイローゼ、児童虐待を予防します。

### <特徴>

- ・18歳までを対象とする「こどもネウボラ」
- ・切れ目のない個別支援（5つの支援プラン）  
「妊娠期支援プラン」「産後支援プラン」「乳児期支援プラン」「幼児期支援プラン」  
「養育支援プラン」
- ・ネットワーク型の連携体制

### <対象者>

妊娠期から子育て期（子どもが概ね18歳）までを対象とすることで、思春期を含む高校生までをサポートします。妊娠初期から周産期までの「妊婦ネウボラ」と、出産後から子育て期までの「こどもネウボラ」を行います。

### <理念>

全ての妊婦、母子、子育て家庭に対して、直接のアドバイスや援助の機会を確保し、生まれ来る子どもたち一人ひとりの幸福を実現します。

### <事業内容>

ちとせ版ネウボラで大切にすることは「対話」。丁寧に話を聞き、親子に寄り添うことで、信頼関係を構築します。

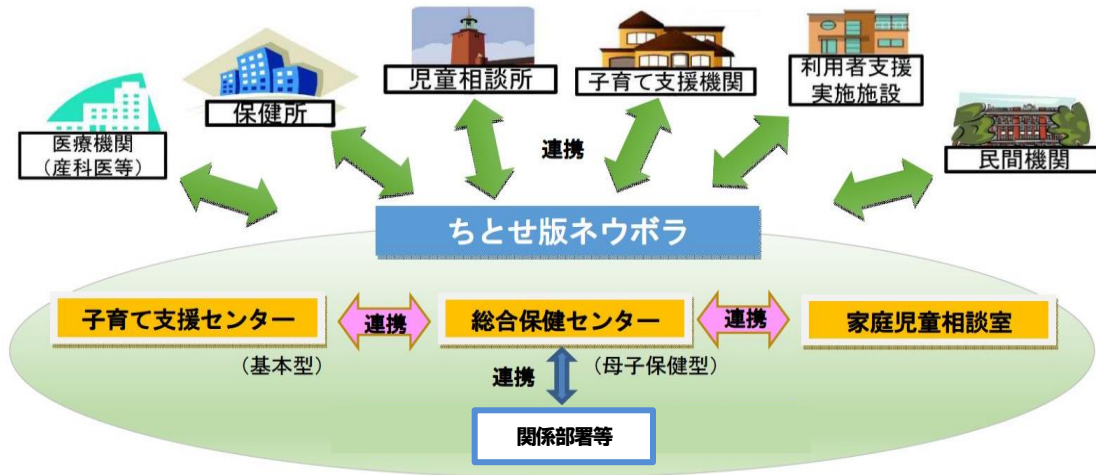
- ① **妊婦ネウボラ**（随時支援） 総合保健センター1階に個室の相談室を整備し、母子保健コーディネーターが親との会話を通して、「傾聴」、「対話」、「助言」を行います。（子育てコンシェルジュとの連携）妊婦全員に妊娠期支援プランを作成します。  
（定期開設）総合保健センター1階に個室の相談室を整備し、月1回予約制の相談日を開設し助産師が相談に応じます。また、市内各所にてこどもネウボラと同時に開催します。
- ② **こどもネウボラ**（定期開設・巡回支援） 総合保健センター1階に個室の相談室を整備し、予約制での相談に応じます。総合保健センター保健師、助産師、栄養士等が市内の子育て支援センター（12か所）を巡回し、妊産婦や子育て中の親が相互に交流しながら、気軽に相談できる機会をつくります。（週1回程度）必要時、支援プランを作成します。
- ③ **個別ケア会議** 心理社会的問題、家庭内暴力、望まない妊娠、ネグレクト、育児不安や孤立感など、支援が必要な家庭に対して複数の専門職による「個別ケア会議」を開催し、チームで支援します。（月1回定期開催）
- ④ **ちとせ版ネウボラ会議** 総合保健センター、子育て支援センター、家庭児童相談室、こども療育課などが、顔の見えるネットワークを構築し、定期的に「ちとせ版ネウボラ会議」を開催します。

<事業効果>

マタニティブルー、産後うつ、育児ノイローゼ、児童虐待の予防効果が期待できます。

※ **ネウボラ** フィンランドで約70年前に発祥した「妊娠・出産・子育てを支援する仕組み」のこと。フィンランド語で“ネウボ(neuvo)＝アドバイス”の“ラ(la)＝場所”という意味。

利用者支援事業の「母子保健型」と「基本型」を活用し、総合保健センター、子育て支援センター、家庭児童相談室が核となって、こども療育課などの関係部署・機関と連携しシームレスに必要な窓口に繋がります



※ 利用者支援事業の母子保健型と基本型を活用

妊娠前	妊娠期	出産 出生	乳児期	幼児期					学齢期
			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6~18歳
不妊相談	ちとせ版ネウボラ (妊婦・子育て相談)								
不育症 治療費 助成	両親学級	こんにちは赤ちゃん訪問事業 産後ケア事業	股関節脱臼検診、4か月児健診、10か月児健診、 1歳6か月児健診、3歳児健診、5歳児相談、 予防接種、思春期相談						
子育てコンシェルジュ、ママサポート(訪問型支援)、 スキルアップ講座、子育て講座、子育て短期支援事業									

**6 「子ども家庭総合支援拠点」(平成29年4月設置)**

<趣旨>

子どもとその家庭、妊産婦の実情の把握、情報の提供、相談、調査、指導、関係機関との連絡調整その他の必要な支援を行うための「子ども家庭総合支援拠点」を形成します。

<目的>

すべての子どもが適切な養育を受け、健やかな成長、発達や自立等が保障され、子どもが持つ力を最大限に発揮することができるよう子どもとその家庭を支援します。

<対象者>

子ども(概ね18歳まで)とその家庭、妊産婦等を対象とする。

## <事業内容>

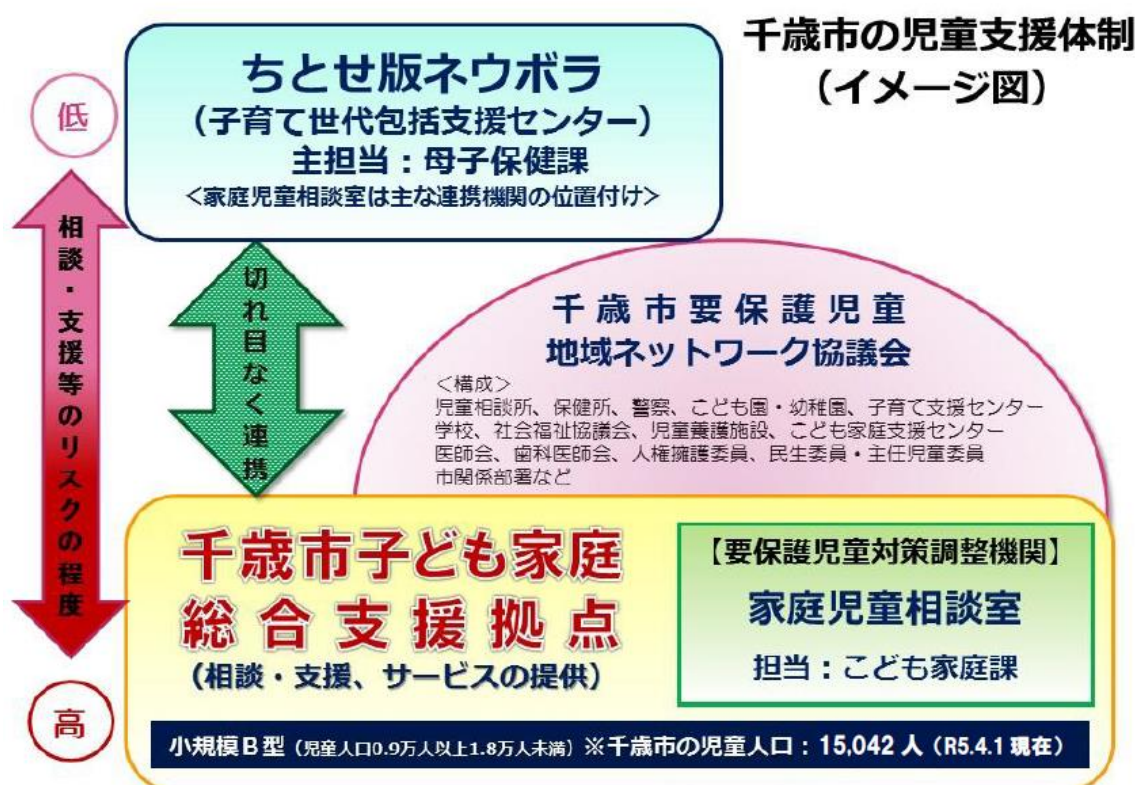
家庭児童相談室や千歳市要保護児童地域ネットワーク協議会で行う様々な相談対応や訪問等による継続的な支援業務のほか、支援拠点の業務として次の子育て支援事業を行います。

- ① 子育て短期支援事業  
児童養護施設2カ所または市内の一般家庭（里親）に委託し、必要に応じてショートステイを実施します。
- ② 子育てカウンセリング  
月に2回、申込制で臨床心理士によるカウンセリングを実施します。
- ③ おや？おや？安心サポートシステム  
千歳保健所と連携し、こども園等に通う児童に関し、経過観察票を用いて不適切な養育状態にないかチェックし、必要に応じて千歳市要保護児童地域ネットワーク協議会個別ケース検討会議を開催し対応を検討します。
- ④ 子育てスキルアップ講座<市民活動団体との市民協働プロモーション事業>  
怒鳴ったり、叩いたりしない子育て方法を学ぶ講座を開催します。
  - ・年8回程度、子育て支援センター等で市民向け講座を開催
  - ・年3回、1回につき4クール連続講座を開催
  - ・必要に応じ、要支援家庭に対する個別講座を開催
  - ・年1回、子育て支援機関の関係者向け研修講座を開催 <市民活動団体との市民協働プロモーション事業>

## <事業効果>

子育て世代包括支援センター（ちとせ版ネウボラ）、千歳市要保護児童地域ネットワーク協議会及び家庭児童相談室等の関係機関が緊密に協力・連携し、児童虐待の予防と早期発見、初期対応の迅速化をはじめ、産後うつや育児ノイローゼの把握や防止等の効果が期待できます。

※ 千歳市子ども家庭総合支援拠点では、担当者への助言指導や児童相談所など関係機関との連絡調整等を行う専門官1名を配置し、支援体制を強化しています。




# 7 主要事業と対象年齢



こども政策課…■ こども家庭課…■ 子育て支援センター…■ こども療育課…■  
 母子保健課…■ 福祉課…■

	No.	事業名	出産前	乳幼児 (0歳～5歳)	小学生 (6歳～11歳)	中高生 (12歳～18歳)
1 子どもの健やかな成長	1	学童クラブの対象学年・定員の拡大			<span style="color:green">■</span>	
	2	長期休業期間のみ利用する学童クラブ			<span style="color:green">■</span>	
	3	ランドセル来館の導入			<span style="color:green">■</span>	
	4	中高生タイムの導入				<span style="color:green">■</span>
	5	民設民営による児童館の開設		<span style="color:green">■</span>		
	6	インクルージョン保育の導入		<span style="color:blue">■</span>		
	7	子育て短期支援事業（ショートステイ）		<span style="color:orange">■</span>		
	8	「医療的ケア児支援協議会」の設置		<span style="color:blue">■</span>		
	9	5歳児相談の導入			<span style="color:pink">■</span>	
	10	ちとせ学習チャレンジ塾の開設				<span style="color:yellow">■</span>
	11	“児童館においでよ” メッセージ発信			<span style="color:green">■</span>	
	12	子どもの受動喫煙ストップ周知啓発	<span style="color:pink">■</span>			
	13	児童発達支援センターの設置		<span style="color:green">■</span>		
	14	児童館・学童クラブ民間委託開始		<span style="color:green">■</span>		
	2 子育て世代の移住・定住	15	新生児聴覚検査事業		<span style="color:pink">■</span>	
16		ちとせ子育てコンシェルジュの導入	<span style="color:green">■</span>			
17		ママサポートの導入		<span style="color:green">■</span>		
18		ちとせ版ネウボラの導入	<span style="color:pink">■</span>			
19		ランチタイムの導入		<span style="color:green">■</span>		
20		毎日ランチデーの導入		<span style="color:green">■</span>		
21		マタニティー・ランチデーの導入	<span style="color:green">■</span>			
22		転入親子ウエルカム交流ツアーの導入		<span style="color:red">■</span>		
23		新制度保育料の独自軽減の拡充		<span style="color:red">■</span>		
24		ブランディングの強化	<span style="color:red">■</span>			
25		みんなで子育て応援宣言の普及啓発	<span style="color:red">■</span>			
26	休日保育利用料の無償化（独自軽減）		<span style="color:red">■</span>			



	No.	事業名	出産前	乳幼児 (0歳～5歳)	小学生 (6歳～11歳)	中高生 (12歳～18歳)
3 女性の妊娠・出産・就業の支援	27	いいお産の日 in ちとせの開催				
	28	幼保連携型認定こども園の普及促進				
	29	小規模保育の導入				
	30	企業主導型保育事業の支援				
	31	就職セミナーの開催				
	32	保育士就職相談窓口「ちーマインダー」の開設				
	33	千歳市子育て応援会議の設置				
	34	産後ケア事業の導入				
	35	病児・病後児保育事業の拡充				
	36	不育症治療費助成事業の導入				
	37	産婦健康診査補助事業の導入				
	38	小田原短期大学千歳スクール（保育士等養成校）の開校				
4 住民のWLBの向上	39	げんきっこセンターの開設				
	40	児童館型子育て支援センターの導入				
	41	子育て支援センターの休日開館の導入				
	42	民間施設における一時預かり事業（幼稚園型）の導入				
	43	一時預かり事業（一般型）の定員拡大				
	44	ファミリー・サポート・センターの負担軽減				
	45	イクボス宣言の普及啓発				
5 家庭や地域での子育て力の向上	46	11 館合同児童館まつりの開催				
	47	子育てブログの導入				
	48	「そらまちキッズnavi」の導入				
	49	子育てガイドの作成				
	50	子育てスキルアップ講座の導入				
	51	企業連携ふちゼミの開催				
	52	ちとせ子育て特典カードの拡充				
	53	子ども家庭総合支援拠点の導入				
	54	子育てネットワークの運用				
	55	こども食堂応援事業				
	56	子育てカウンセリングの実施				
	57	「児童虐待対応マニュアル」市民版の配布				
	58	児童虐待ゼロ宣言の普及啓発				
	59	児童虐待早期発見・防止のためのワンポイント出張講座				

## コンセプト1「子どもの健やかな成長」(15事業)

No.	事業名等	事業内容
1	学童クラブの対象学年・定員の拡大、専用施設整備 H26年度～新制度事業	放課後児童が利用する「学童クラブ」は、対象学年を小学6年生まで拡大したほか、北陽小学校区と緑小学校区に学童クラブ専用施設を新設し、定員増を図りました。(定員460人→860人) 令和4年4月に、北陽小学校区に開設していた学童クラブ1か所を廃止し、みどり台小学校区に学童クラブ2か所を開設しました。(定員860人→895人)
2	小学校の長期休業期間のみ利用する学童クラブ事業の実施 H30年度～市独自事業	通年での利用とは異なり、小学校の長期休業期間(夏・秋・冬・学年末休み)のみ利用できる学童クラブ事業を実施しています。 H29ーモデル事業として3学童クラブ/H30ー全17学童クラブ/R4ー全18学童クラブ
3	「ランドセル来館」の導入 H26年度～市独自事業	保護者が留守になる子どものために、ランドセルを背負ったまま児童館に来館できる登録制の「ランドセル来館」を全児童館で実施しています。 (利用は無料) ※道内初の取組み
4	「中高生タイム」の導入 H26年度～市独自事業	全児童館の開館時間を1時間延長し、中高校生の専用時間(17:30～18:30)を設定することで、中高生の居場所づくりや自主的活動(卓球、バスケット、ダンス、学習等)を支援しています。
5	民設民営による児童館の開設 R元年度～補助事業	市内で初めて民間事業者の設置・運営による児童館が設置されました。当該児童館はランドセル来館、中高生タイム等の事業を実施するほか、子育て支援センターとしての機能もあります。
6	「インクルージョン保育」を支援する取組の導入 H27年度～補助事業	専門職が認定こども園等を訪問する「保育所等訪問支援」や「巡回支援事業みにくる」を実施して、インクルージョン保育が認定こども園等の保育現場で円滑に行えるよう、支援しています。
7	子育て短期支援事業(ショートステイ) H27年度～補助事業	保護者が病気や仕事などで、一時的に家庭内での養育ができなくなった場合に、児童養護施設等において泊まりで短期間お子さんを預かる制度です。
8	「医療的ケア児支援協議会」の設置 H30年度～市単独事業	医療的ケア児とご家族が、適切な支援を受けられるよう、「千歳市医療的ケア児支援協議会」を設置し、支援における課題や対応策の協議、関係機関との連絡調整を行っています。
9	「5歳児相談」の導入 H27年度～市独自事業	市内すべての5歳児を対象に、身体計測、視力検査、栄養相談、発達の確認や育児へのアドバイスなどを行い、小学校就学に向けての支援を行っています。
10	「ちとせ学習チャレンジ塾」の開設 H27年度～補助事業	経済的な理由から塾に通うことのできない生活保護世帯、ひとり親世帯の中学生と高校生を対象に、週2回、教員OBや学生ボランティアによる学習支援を行っています。
11	“児童館においでよ”緊急メッセージの発信 H27年度～市独自事業	子どもを犯罪や虐待、自傷・自殺などから守るため、居場所がない子どもたちのために、児童館が安全な居場所であることをメッセージにのせて、“児童館においでよ”を発信しています。

12	子どもの受動喫煙ストップ 周知啓発 H26年度～市独自事業	4か月児健診時のほか、市内認定こども園等と連携し、リーフレットの配布を通じて、子どもの受動喫煙防止について周知啓発しています。
13	児童発達支援センターの設置 R2年度～市単独事業	相談支援や児童発達支援の支援体制を強化するため、「こども通園センター」から移行しました。移行に伴う利用料の増額負担を軽減するため、市が独自に助成しています。
14	児童館・学童クラブ民間委託開始 R3年度～市単独事業	令和3年4月から市内児童館9か所及び学童クラブ17か所の一部運営業務委託開始（令和3年度～5年度まで） 令和4年4月開設の児童館1か所及び学童クラブ2か所についても業務委託をしています。
15	新生児聴覚検査事業 R3年度～新制度事業	お子さんの聞こえにくさを早期に発見し、早期に治療や療育に結びつけられるよう新生児聴覚検査費用の一部を助成します。

## コンセプト2 「子育て世代の移住・定住促進」(11事業)

No.	事業名等	事業内容
16	「ちとせ子育てコンシェルジュ」の導入 H27年度～新制度事業	子育て支援センターに「子育てコンシェルジュ」を4人配置し、子育てに関する相談や認定こども園や幼稚園などの情報提供など、子育て世代を支援しています。
17	「ママサポート」の導入 H27年度～新制度事業	英国発祥の「ホームスタート」を参考に、子育てコンシェルジュが子育て家庭を1回2時間以内、最大8回訪問して、孤立感や子育て不安の解消に努めています。
18	「ちとせ版ネウボラ」の導入 H28年度～新制度事業	フィンランド発祥の「ネウボラ」を参考に、保健センターにネウボラ相談室を整備し、5つの支援プランを作成するなど、切れ目のない相談体制に取り組んでいます。
19	「ランチタイム」の導入 H26年度～市独自事業	子育てサークル等の団体が児童館を利用する際に、昼食時間にお弁当を食べながら交流する「ランチタイム」を実施しています。
20	「毎日ランチデー」の導入 H28年10月～市独自事業	ちとせっこセンター、げんきっこセンターにおいて、乳幼児親子が一緒にお弁当を食べながら交流する「毎日ランチデー」を導入し、子育て中の親子の孤立を防止します。
21	「マタニティー・ランチデー」の導入 H29年2月～市独自事業	ちとせっこセンター、げんきっこセンターにおいて、「妊婦の居場所づくり事業」として、妊婦が一緒にお弁当を食べる「マタニティー・ランチデー」を導入します。
22	「転入親子ウエルカム交流ツアー」の導入 H27年度～市独自事業	転入して間もない子育て家庭向けに、バスツアーを通じて市内の施設や子育て事業を紹介し、千歳に知り合いの少ない親子同士がふれあい、友だち付き合いのきっかけになる「転入親子ウエルカム交流ツアー」（年1回）を開催しています。
23	新制度における保育料の独自軽減の拡充 H27年度～市独自事業	子育て世代の保育料負担を軽減するために、一般財源をこれまでの約2倍投入し、認定こども園や保育所、小規模保育所等の保育料を独自に軽減しています。
24	「子育てするなら、千歳市」ブランディングの強化 R元年度～補助事業	平成27年度に「子育てするなら、千歳市」のロゴマークを策定して以降、ポスター及びリーフレットによるPR活動を行ってききましたが、令和元年度は新たにクリアファイルを作成・配布し、令和2年度は市民団体「ちとせ・こどもチャンネル」と協働で「子育てするなら、千歳市」PR動画を制作し、ブランドのさらなる普及促進を図ります。

25	みんなで子育て応援宣言の普及啓発 R元年度～市独自事業	千歳市子育てママ応援会議で採択された「みんなで子育て応援宣言」を通して、市民一人ひとりが子育てを応援していく千歳市としての在り方を示していけるよう、普及促進を図ります。
26	休日保育利用料の無償化（独自軽減） R2年度～市独自事業	保護者の就労形態の多様化に伴う休日の保育ニーズに対応するため、令和2年4月から、市独自の軽減策などにより休日保育事業の利用料を無償化とし、保護者負担の軽減を図ります。

### コンセプト3 「女性の妊娠・出産・就業の支援」（12事業）

No.	事業名等	事業内容
27	「いいお産の日 in ちとせ」のイベント開催 H27年度～市独自事業	11月03日（いいおさん）の日に、妊娠中や子育て中の方をはじめ、全ての世代の方が出産や育児について考えるきっかけとなるイベントを開催しています。
28	幼保連携型認定こども園の普及促進 H27年度～新制度事業	平成29年4月まで保育所9園、幼稚園3園が幼保連携型認定こども園に移行したほか、平成30年に1園、平成31年に1園が新設されています。（現在計14園）
29	小規模保育の導入 H27年度～新制度事業	平成27年4月に小規模保育事業所6園、平成28年4月に2園、平成30年4月に1園が新設されています。（うち1園が認可保育所に移行したため、現在計8園）
30	企業主導型保育事業の支援 H29年度～国の直接補助	待機児童の発生防止及び潜在待機児童の解消策として、「企業主導型保育所」を設置する事業者と連携し、運営等に係る支援を行っています。
31	「保育士等合同就職面接・説明会」の開催 H27年度～市独自事業	これから保育士を目指す方や保育士として再就職を考えている方を対象に、就職に役立つセミナーを開催しています。（年1回）
32	保育士就職相談窓口「ちーマインダー」の開設 R元年度～市単独事業	市役所窓口において保育施設等の求人情報を提供するとともに相談業務を行い、潜在保育士の就労を支援します。また、令和2年10月から無料職業紹介所の機能が加わり、市内の教育・保育関係の求職者と事業者のマッチングを行っています。
33	「千歳市子育て応援会議」の設置 R2年度～市独自事業	千歳市子育てママ応援会議で掲げた「みんなで子育て応援宣言」の普及と、市が行っている「千歳市子ども・子育て支援事業計画」の推進及び進捗状況の確認を行い、千歳市がより一層子どもたちを健やかに育てることのできるまちにするため「千歳市子育て応援会議」を新たに設置しました。
34	「産後ケア事業」の導入 H31年度～新制度事業	出産後の体調や育児に不安がある方、サポートが少ない方等に、助産師がケアを提供しています。（訪問型・デイサービス型）
35	病児・病後児保育事業の拡充 R元年度～補助事業	病氣中または病氣の回復期で集団保育が困難な子どもを一時的に保育する「病児・病後児保育事業」について、平成31年度から受付時間及び利用時間を長くし、事業を必要とする方がより利用しやすいようにしました。
36	「不育症治療費助成事業」の導入 R2年度～市独自事業	不育症治療を望む方に、不育症の検査及び治療費の一部を助成します。北海道の助成に上乘せして、市が独自に助成します。
37	「産婦健康診査補助事業」の導入 H31年度～新制度事業	産婦の健康診査費用の一部を助成し、産後のメンタルヘルスや育児支援へのサポートをします。



38	小田原短期大学千歳スクール（保育士等養成校）を運営する三幸学園と協定締結 R5年度～市独自事業	通信教育課程の中で必須となる対面授業を「千歳スクール」で受講した生徒の市内園での実習を仲介するなどにより、保育士確保につながります。
----	---	--

#### コンセプト4 「住民のワーク・ライフ・バランスの向上」（7事業）

No.	事業名等	事業内容
39	「げんきっこセンター」の開設 H26年度～補助事業	北新地区に子育て支援センター、学童クラブ、児童館の3つの機能を持つ中核施設を整備し、赤ちゃんから高校生まで楽しめる子育て環境を提供しています。
40	児童館型地域子育て支援センターの導入 H27年度～新制度事業	自宅から遠いなどの理由でセンターを利用しづらい親子のために、すべての児童館に子育て支援センターを導入しています。（子育て支援センター3か所→12か所）
41	子育て支援センターの休日開館等の導入 H27年度～新制度事業	月1回、ちとせっこセンターとげんきっこセンターの2か所を休日に開設しています。
42	民間施設における一時預かり事業（幼稚園型）の導入 H27年度～新制度事業	公立施設2施設に加え、新たに民間施設でも一時預かり事業（幼稚園型）を開設し、子育て世代の利便性の向上を図っています。
43	一時預かり事業（一般型）の定員拡大 H30年度～新制度事業	平成30年8月から、一時預かり事業（一般型）を実施する民間施設を2施設→3施設に増やし、定員を6人増やしました。
44	ファミリー・サポート・センターの負担軽減 H27年度～補助事業	平成27年度からひとり親家庭等の利用について、1月あたり30時間を限度として、利用に要した費用の1/2を助成しています。
45	イクボス宣言の普及啓発 H29年1月～市独自事業	平成29年1月4日、市長をはじめとする管理職全員が、部下のワーク・ライフ・バランス（父親の育児参加等）を支援しながら、組織としての成果を出し、自らも仕事と私生活を楽しむ「イクボス」宣言をしました。今後は、民間事業者への普及を啓発し、父親の育児参加を応援します。

#### コンセプト5 「家庭や地域での子育て力の向上」（14事業）

No.	事業名等	事業内容
46	「11館合同児童館まつり」の開催 H26年度～市独自事業	中高生ボランティア、民生委員児童委員、福祉団体、教育機関など幅広い年代の市民が参加し、市内11館合同による「児童館まつり」を隔年で開催しています。
47	「子育てブログ」の導入 H26年度～市独自事業	公立の子育て支援センター(2)、認定こども園(2)、児童館(10)、千歳市児童発達支援センター(1)、総合保健センター(1)の16施設がブログでの情報発信を行っています。
48	市民協働による子育て SNS 「そらまちキッズnavi」の導入 R3年度～市独自事業	「子育てするなら、千歳市」政策のブランディング強化及び安心して子育てのできる環境づくりを目的として、子育てに役立つ情報を SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等を通じて発信する「そらまちキッズnavi」を、市民協働プロモーション事業『子育てするなら、千歳市』プロモーション事業により実施しています。

49	千歳市子育てガイドの作成 R3 年度リニューアル～市独自事業	総合的な子育て情報を提供するガイドブックを作成し、配布します。令和3年度は、7月に新版を発行し、令和5年度まで毎年新版を発行します。
50	「子育てスキルアップ講座」の導入 H27 年度～市独自事業	暴力によらない子育て方法や、子どもとのコミュニケーションをテーマにした講座を年間を通して開催しています。
51	「企業連携ぷちゼミ」の開催 H27 年度～市独自事業	市内にある工場や企業・団体等が子育て支援センターや児童館を会場に、親子向け講座やイベントを開催し、まちぐるみで子育て家庭を支援しています。
52	「ちとせ子育て特典カード」の拡充 H28 年度～市独自事業	対象年齢を18歳まで拡充。市内店舗での買物や施設利用の割引や特典を受けられる協賛店を拡充しています。(協賛店119店舗) また、令和2年度から携帯電話などで画像表示できるよう電子版特典カードの利用を開始しました。今後も申請方式や配布方式を見直し、利便性を向上していきます。
53	「子ども家庭総合支援拠点」の導入 H29 年度～補助事業	「千歳市要保護児童地域ネットワーク協議会」、「家庭児童相談室」及び「ちとせ版ネウボラ」(子育て世代包括支援センター)が連携し、子どもとその家族や妊産婦に対し、実情把握や相談、情報提供などの支援を行います。※道内初の取組み
54	「子育てネットワーク」の運用 H28 年度リニューアル～市独自事業	地域で子育て支援を行う団体等で構成する「子育てするネットワーク」において、子育て支援に関する交流や学習会を開催し、相互につながるきっかけづくりを行います。
55	こども食堂応援事業 H29 年度～市独自事業	安心・安全な子どもの居場所づくりを普及するため、食事などを通じた地域のコミュニティ活動である、「こども食堂」の開設や運営に係る相談・情報提供・周知等の支援を行っています。
56	子育てカウンセリングの実施 H22 年度～市独自事業	子育てや家庭内での不安や心配、心の中のつらい思いを専門家である臨床心理士が聴きうけることで、相談者の精神的回復を図ります。
57	「児童虐待対応マニュアル」市民版の配布 H31 年度～市独自事業	児童虐待に対する理解の向上及び未然防止を強化するため平成30年度に関係機関等に向けて「千歳市児童虐待対応マニュアル」を作成・配布しました。平成31年度に「市民版」を新たに作成し、広く市民に普及啓発するとともに、地域に潜在する児童虐待の早期発見と対応に努めます。
58	児童虐待ゼロ宣言の普及啓発 R2 年度～市独自事業	千歳市民はもちろんのこと、子どもに関わる機関、行政が連携し《しつけ》と称した体罰や暴言によらない子育てを応援するまちづくり推進のために宣言しました。市民が一丸となり、子どもに対する暴力のないまちの実現を目指します。
59	児童虐待早期発見・防止のためのワンポイント出張講座 R2 年度～市独自事業	令和2年4月1日から、「親による体罰」の禁止が法律に盛り込まれ、児童虐待の早期発見を期待する声が大きくなっています。児童虐待が疑われるケースの着眼点や相談フローについて、子どもに関わりの多い職場や団体はもちろん、企業等の研修にも出向き講座を行います。

※ 令和5年4月現在の事業内容及び予定を掲載しています。

## 9 合計特殊出生率と人口動態の分析

### 1 合計特殊出生率の推移（平成17年～令和3年）

平成17年以降、全国・全道の合計特殊出生率は上昇傾向にありましたが、平成28年以降は下降しています。

本市の合計特殊出生率は、平成29年・30年・令和2年には全国の値を下回りましたが、その他の年では、全国・全道より高い値となっています。

区分	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
全国	1.26	1.32	1.34	1.37	1.37	1.39	1.39	1.41	1.43
全道	1.15	1.18	1.19	1.20	1.19	1.26	1.25	1.26	1.28
千歳市	1.44	1.49	1.41	1.51	1.42	1.51	1.49	1.46	1.53

区分	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
全国	1.42	1.45	1.44	1.43	1.42	1.36	1.34	1.30
全道	1.27	1.31	1.29	1.29	1.27	1.24	1.21	1.20
千歳市	1.53	1.51	1.52	1.40	1.35	1.46	1.28	1.35

出典：全国、全道は公表値、千歳市は独自集計値

### 2 人口動態の推移（平成22年～令和3年）

住民基本台帳に基づく人口動態で分析すると、本市の人口は、平成22年から令和3年までの12年間で4,328人増加していますが、この内訳として、自然増（出生数－死亡数）が1,649人、社会増（転入－転出）が2,679人であり、人口増加要因の4割程度が自然増によるものとなっています。

（単位：人）

年	人口増減数	自然動態増減数	出生	死亡	社会動態増減数	結婚	離婚
平成22年	305	328	959	631	△23	621	220
平成23年	571	276	932	656	295	601	210
平成24年	548	251	926	675	297	585	245
平成25年	543	276	943	667	267	589	205
平成26年	43	251	916	665	△208	579	213
平成27年	393	241	903	662	152	549	225
平成28年	489	150	897	747	339	535	210
平成29年	423	85	804	719	338	548	209
平成30年	214	△4	776	780	218	547	191
令和元年	505	49	812	763	456	516	201
令和2年	420	△193	724	917	613	485	194
令和3年	△126	△61	736	797	△65	482	177
計	4328	1649	10,328	8679	2679	6637	2500

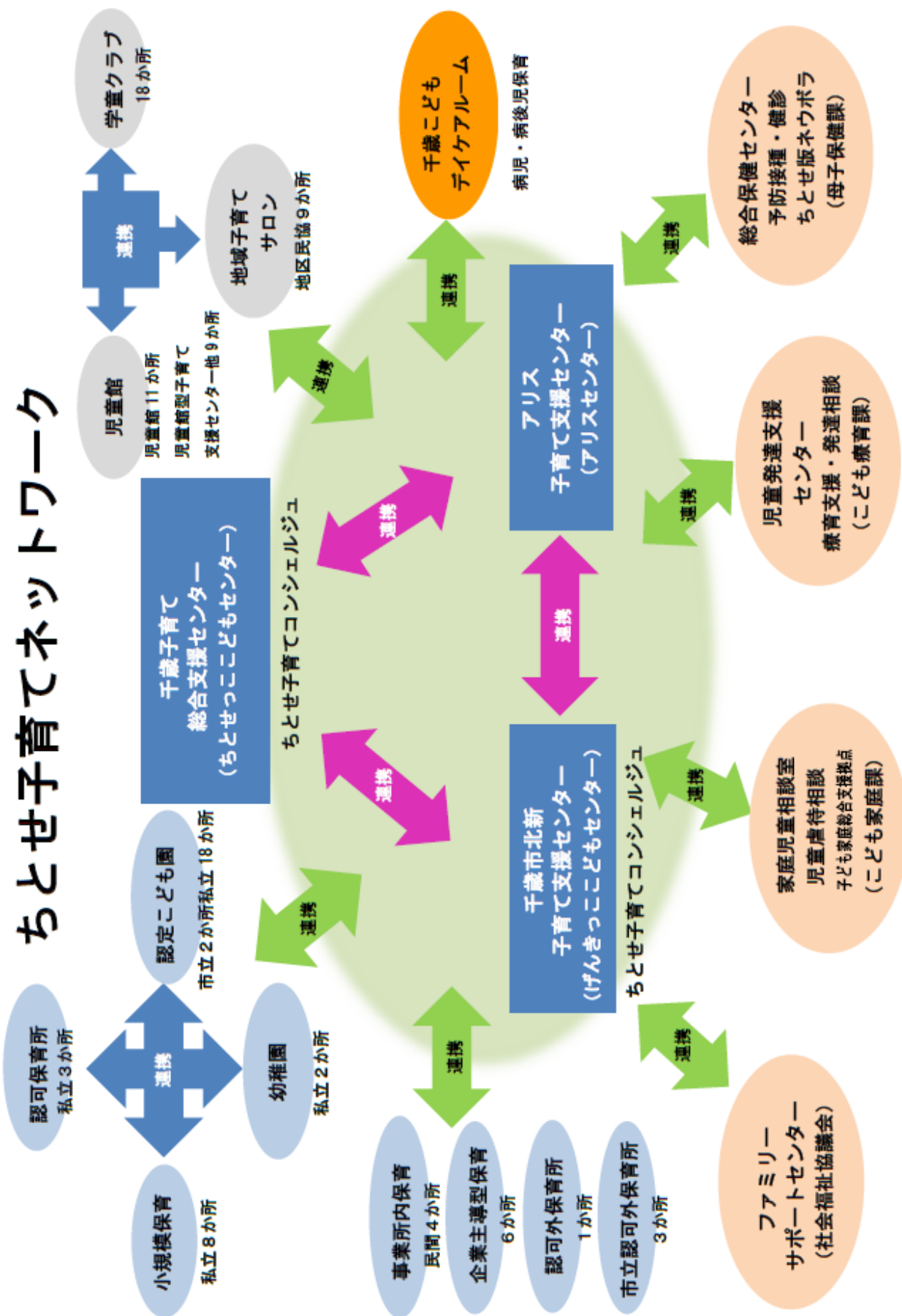
出典：要覧ちとせ「人口動態の推移」





【参考2】ちとせ子育てネットワークの構成図

# ちとせ子育てネットワーク



※ 市は、子育て関連施設や団体等と「ちとせ子育てネットワーク」を構築しています。

## みんなで子育て応援宣言

- ★もっと子育てを楽しみながら、みんなで育てます。
- ★子育ての悩みを一人で抱え孤立化しないように地域で応援します。
- ★気兼ねなく男性・女性が産休育休を取れる職場の環境づくりを推進します。
- ★お父さんとお母さんの笑顔で子どもを笑顔にします。
- ★ひとりひとりが子育て全カサポーターとなり、子どもを見守ります。
- ★親子が幸せを実感でき、安心して充実した生活ができる、笑顔あふれる千歳市にします。

令和元年11月12日 千歳市子育てママ応援会議

## 千歳市児童虐待防止ゼロ宣言

私たちは、しつけと称した体罰や、暴力などによらない子育てを応援するまちづくりを進めていくことをここに宣言します。

- ★子どもの健やかな成長・発達に体罰は必要ありません。
- ★子どもの気持ちや考えに耳を傾けましょう。
- ★子どものやる気に働きかけてみましょう。
- ★子どもの成長に温かいまなざしを向けましょう。
- ★子どもの権利が守られる体罰のない社会を実現しましょう。

令和2年9月 千歳市  
千歳市要保護児童地域ネットワーク協議会



“子育てするなら、千歳市”

政策冊子（第15版）

令和5年4月

発行 こども福祉部